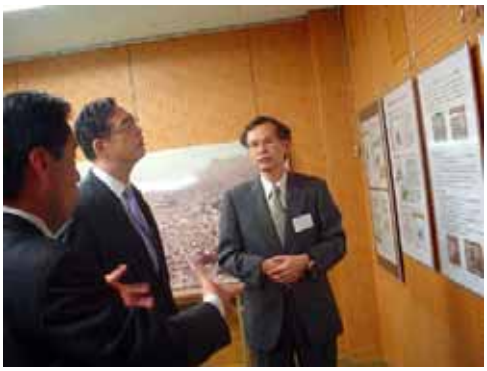
「世界保健ニーズに応える医薬品研究開発のためのディプロマ・コース」
――林文部科学審議官が長崎大学を訪問――

ディプロマ・コース修了者を囲んでの記念撮影



岡林附属図書館長から説明を受ける林文部科学審議官(中央)

青木熱帯医学研究所長から説明を受ける林文部科学審議官(左)

林文部科学審議官は，１１月８日（水）に長崎大学を訪問し，同大学熱帯医学研究所において「世界保健ニーズに応える医薬品研究開発のためのディプロマ・コース」の修了式に参列しました。

このコースは，主に途上国に蔓延する感染症などの重要性を考慮した医薬品研究開発に携わる人材の育成を目的として，長崎大学をはじめとする４か国（日本，タイ，中国，コロンビア）６大学と世界保健機構（WHO），日本薬学会の連携により，医薬品開発に関するプロセスを国内外の大学，官庁，企業などの第一線の専門家総勢６１名の講師が５週間かけてすべて英語で講義を行うもので，同日齋藤学長より全コース修了者１１名にディプロマ（修了証書）が授与されました。

林文部科学審議官は，前日から長崎大学を訪れ，青木熱帯医学研究所長及び平山同副所長より研究所の取組み及び熱帯医学ミュージアムの展示についての説明を受けたほか，附属図書館を視察し，幕末・明治期日本古写真コレクションなどの貴重資料について岡林附属図書館長の説明を受けました。また，学長室において，齋藤学長，石井理事及び三宅理事と懇談を行いました。

（研究国際部学術国際課）